



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和元年10月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

防災について（子供たちに付けたい力）

校長 林 秀次

学習発表会では、多くの地域の皆様のご協力とご支援によって、子供たちは一人一人の学びを十分に発表することができました。本当にありがとうございます。子供たちは、今回の学習発表会で表現できたことやそれに対する温かい評価をいただいたことで、達成感を感じると共に自信が深まり、生き生きと日々の学校生活に取り組んでいます。

さて、先日の台風19号は各地に大きな被害を引き起こしました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈りいたします。幸いなことに本校区では大きな被害もなく、学校も通常の教育活動を行うことができます。今年は9月後半から、何度も台風が襲い、麦屋祭りや平地域上平地域の運動会にも影響が出ました。地域の方々には、たいへんご苦労だったと思います。

「富山県には地震来んし、立山があるから台風もどうもないちゃ」とよく言われますが、はたしてそうでしょうか。歴史を紐解くと、過去に大きな地震等の自然災害が何度も起こっていたことが分かります。南砺市のハザードマップを見ても、洪水の予想地域、土砂崩れの危険地域、そして地震では最大震度6強が予想されている地域等があります。今回、家や学校等の建物をもう一度見直し、もしもの対策はできているのかを見直すと共に、大きな自然災害に対してしっかりと判断し対応できる心の準備をしておくことが大切だと強く感じました。

新しい学習指導要領でも社会科・理科・体育科等で防災に関わる記述が増えています。子供たちには、もしもの場合に対して備える姿勢と、状況を正確に把握・判断し、適切な対応をして自分（たち）の命を守る力が必要です。豪雨、洪水、土砂崩れ等、この地域で心配される災害だけではなく、津波等この地域では起こりえない災害に対しても対応していける力を育てたいと考えています。

ふるさとの伝統を受け継ぐ

民謡担当 勇崎 小百合

本校の伝統の一つに、民謡学習があります。

運動会の「こきりこ」の総踊り、学習発表会の民謡発表に向け、各保存会の方には、1学期から何度のご指導をいただき、子供たちは民謡を守り伝える地域の方々の熱い思いを感じながら練習に励みました。しでの先を見ながら踊る動きや教えてもらったことを子供たち同士で確認し合う姿にも、伝統を受け継ごうとする心が現れているように感じられます。

衣装の着付けについては、各保存会ははじめ保護者の皆様のご協力をいただきました。

こうした地域ぐるみでの支援に改めて感謝すると共に、民謡を通してふるさとの伝統文化に誇りをもち、大切に受け継いでいこうとする気持ちを一層育んでいきたいと考えています。

